先輩職員にインタビュー！①

企画環境経済部　企画課　プロモーション推進担当
（平成23年入庁　13年目）

業務内容は？

大きく分けて、「かさまつ応援寄附金（ふるさと納税）」・「まちづくりイベント団体事務局」に関する業務を行っています。

入庁当初の志望動機は？

私自身が育った笠松町は、歴史や文化、自然豊かな素晴らしい町であり、この町の魅力をもっと発信していけるような仕事に携わりたいと感じたからです。

仕事のやりがいは？

ふるさと納税で、事業者と話し合って作った特産品に対して、実際に申し込みがあったときは、とてもうれしく思います。また、イベントの業務では、自分も笠松町のまちづくりに携わっているんだという実感を感じることができ、仕事のやる気にもつながっています。

職場の雰囲気は？

仕事のみならず、プライベートな悩みに対しても、親身になって相談に乗ってくださる上司や先輩方ばかりで、とても話しやすく、温かな雰囲気の職場だと思います。日常業務の息抜きにもなるお昼ご飯や休憩時間でのちょっとした雑談は、ひそかな楽しみです。

ワークライフバランスは？

仕事とプライベートをしっかり分け、仕事中は目の前の業務に全力を注ぎ、仕事が終われば、オンとオフを切り替え、子どもと遊んだり、家族との団らんを通じて、心身ともにリフレッシュしています。特に、子どもとお風呂に入り、寝かし付けた後に見る寝顔は癒しの時間です。

受験者にひとこと！

役場の仕事は様々で、時には大変なこともあるかと思いますが、町民の方から『ありがとう』と言われたときは、頑張って良かったなと感じることができると思います。「町民の方のために」という気持ちと、「笠松町をよくしたい」いうやる気があれば大丈夫です！

一緒に仕事ができる日を楽しみにしています！！

先輩職員にインタビュー！②

議会事務局

（平成28年入庁　8年目）

業務内容は？

本会議の運営などに関する事務を始め、議会活動を町民の皆さんに町ホームページでお知らせする業務、議長等の秘書業務など町議会における一切の事務を行っています。

入庁当初の志望動機は？

仕事と家庭の両立がしやすいと思い公務員を志望したのがきっかけです。その中で公務員として働くならばやはり生まれ育った地元である笠松町で働き、笠松町について知りたいと思い志望しました。

仕事のやりがいは？

町議会で議決されたことがその後の町政運営につながっていきますので、町民の代表である議員の方々の近くで、町の課題や新たな施策を目の当たりにできることにやりがいを感じます。

職場の雰囲気は？

子育ての先輩も多く、困ったこと等、気軽に相談でき、一緒に考えてくれる優しい方ばかりで、とても明るく働きやすい雰囲気です。業務内容も配慮していただき大変ありがたいです。

ワークライフバランスは？

現在、3歳の子供を幼稚園に預けているため、1時間の部分休業を取得し、迎えの時間に間に合うようにしています。家での時間も増えるため子供と遊ぶこともでき、時間も心も余裕を持って過ごすことができています。子供と遊んでいるときは1日の疲れを癒してくれる大事な時間です。

受験者にひとこと！

役場の仕事は担当によって様々な業務があるため覚えることはたくさんありますが、知識や経験を得ることができます。みなさんと働けるのを楽しみにしています。

先輩職員にインタビュー！③

住民福祉部　健康介護課　保健予防担当
（平成23年入庁　13年目）

業務内容は？

国民健康保険加入者や後期高齢者医療保険加入者への健診や健診後の保健指導、介護予防事業などの保健事業を行っています。

入庁当初の志望動機は？

保健師として、町民の方々の健康づくりに携わる仕事がしたいと思い志望しました。

仕事のやりがいは？

笠松町の健康課題を分析し、必要な保健事業の企画・立案、実施、評価を行っています。町にとって必要な保健事業を実現できた時は、やりがいを感じます。自分の意見を言いやすい職場なので、保健事業の企画にも挑戦しやすいです。

職場の雰囲気は？

先輩保健師や上司が親身に相談にのってくれる温かい職場です。保健師同士の仲も良く、相談し合い、助け合いながら仕事をすることができています。

ワークライフバランスは？

部分休業制度を活用しながら、育児と仕事を両立することができています。育児休業も約2年半取得し、子どもとじっくり関わる時間を持つことができました。

子どもの急病による休暇も、周囲の理解があり取得しやすいためとても助かっています。

受験者にひとこと！

育児をしながら仕事も頑張ることができる、とても働きやすい職場です。乳幼児期から老年期までの幅広い対象者との関わりを通して、保健師としても、人としてもステップアップできると思います。

ぜひ、笠松町で一緒に働きましょう！

先輩職員にインタビュー！④

建設部　建設課　土木担当

（平成30年入庁　6年目）

業務内容は？

道路・河川・公園・治水施設等といったインフラ設備の維持・管理および設計、また都市計画や交通安全、土地の境界に関する業務を行っています。

入庁当初の志望動機は？

大学で建築を専攻したのち設計職として建材メーカーに勤務しましたが、結婚という人生の転機を迎え、より地域に根差した仕事がしたいと考えるようになり、入庁を志望しました。

仕事のやりがいは？

人々の暮らしの安全や安心、豊かさに貢献できる仕事という点でとてもやりがいを感じています。休日の 家族連れでにぎわうみなと公園や通学中の学生が新しく整備した道路を通行している様子をみるときなど、暮らしを支えるまちづくりにかかわることができていることを誇らしく思う瞬間に出会うことができます。

職場の雰囲気は？

幅広い年齢層で構成されている課ですが、緊張感もありつつ、ときには冗談の飛び交うほがらかな雰囲気です。情報共有もスムーズで業務の効率化につながっています。

ワークライフバランスは？

大部分は自分の采配で仕事のスケジュールを組むことができるため、家族で食事をゆっくりとったり、趣味の楽器演奏に充てるなど充実した余暇を過ごすことができ、心身ともに健やかに保つことができています。

受験者にひとこと！

笠松町には困ったときにはすぐに駆け付けてくれる頼れる先輩がたくさんいます。自分の仕事が「まちづくり」につながっていく快感を一緒に味わってみませんか。